

ひまわり

道退教胆振・室蘭支部

<支部長> 木村政幸

<事務局>

苫小牧市宮の森町

2-14-5

山口 徹 方

☎0144-74-0320



第19回 道退教 胆振・ 室蘭 支部年次 総会

(於)白老虎杖浜
ホテルいずみ
6月4日(月)
~5日(火)

今年度の年次総会、当初22名の参加予定でしたが、怪我と用事で、19名の参加となりました。総会は、この1年間で残念ながら亡くなられた4名の会員の方への黙祷から始

総会后(後列左から)元木昭八・黒田孝・藤井孝三・永井汎・岡澤幸一 (中列左から)松原義則・山口十四郎・山本弘司・木村政幸・近藤富行・金崎重彌(前列左から)佐々木敏・高橋尚子・毛利和子・小形尚子・沢田みほ子・近藤一恵・山口徹(帰宅)渡辺伴子 <敬称略>

まり、その後、新会員の小形尚子さん、毛利和子さん、佐々木敏さんの紹介と挨拶。会長の挨拶後議事に入りました。議事の中では、会費の集め方、「ひまわり」を通じた会員の交流、学校現職と退職者の交流等についての意見交流がされました。その中で、永井さんが用意してくれた、5年前に遡る道教委の勤務実態調査の状況を聞き、学校教育現場を無視した調査に、呆れ、驚き、怒りを覚えました。又、その中で、道退教として、もっと現場の状況を交流することが必要との意見が出されました。

夕食交流会

夕食をとりながら、近藤さんの司会で、参加者全員が近況な

どを話し、持ち時間をオーバーしながら、皆で楽しい時間を過ごしました。

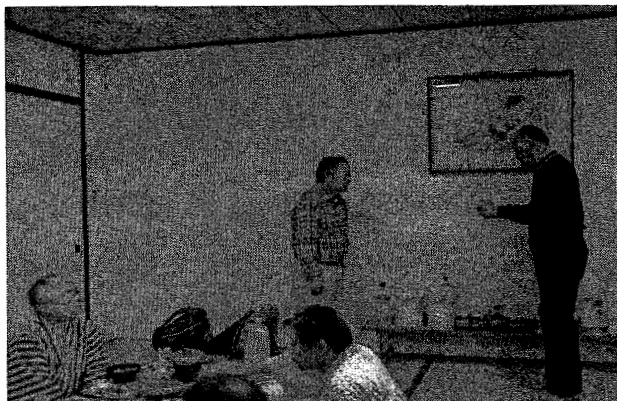
その中で、木村支部長から小川潔さんに、道退教からの喜寿顕彰の伝達がされました。参加されなかった新岡健介さんには支部委員から届けてもらうようにしました。

又、今回も、黒田さんの教え子のホテルいずみ広地紀彰支配人から日本酒の差し入れを頂きました。



道喜寿
顕彰 ⇨

⇨ 喜寿
の挨拶
・小川
潔さん



⇨
夕食交流





「情勢にふさわしい役割 と運動を」

支部長 木村 政幸

総会への参加、大変ご苦勞様です。

支部を代表して、御挨拶申し上げます。挨拶の前に一言お礼を申し上げます。

去る5月19日にありました道退教総会で、四度会計監査に立候補しました。本部役員としてこれ

からも退職教職員の会の発展に微力を尽くしたいと思しますので、ご支援をお願い致します。

道退教は、今年で創立20周年を迎えました。総会后、「創立20周年記念レセプション」を盛大に開催したところです。

道退教は、その20年間、平和と民主主義、いのちと暮らしを守り、楽しく豊かな高齢者の生活をも守る運動の一翼として奮闘してきたところ



です。長年会員として活躍してこられた皆さんに、運動方針を説明することはいささか躊躇しますが、確認の意味で述べたいと思います。

第一は、「活動三分、楽しみ七分」、親睦・交流・生きがいを広げ、ひとりぼっちの会員をなくす活動です。

第二は、年一回総会を開催し、活動のまとめや、さらに発展させる会員の要求・意見を集約し、結集することです。

第三は、子どもと教育の困難さが一層増す中、諸問題の課題を明らかにし、民主的學校づくりを進めている教職員を励ます取り組みと、全教が進める「教育全国署名」を成功させる事です。

第四は、「道退教で元気、連帯、生きがい」を合い言葉に、輪を広げ、活動を充実させ、より多くの人がこの運動に参加できる裾野を広げることです。

東日本大震災と福島原発事故から1年4ヶ月が経ちました。原発事故の恐ろしさ



は、チェルノブイリ事故の現状が、如実に物語っています。事故から26年、東京都23区の1.5倍が永遠に居住できない状態にあります。

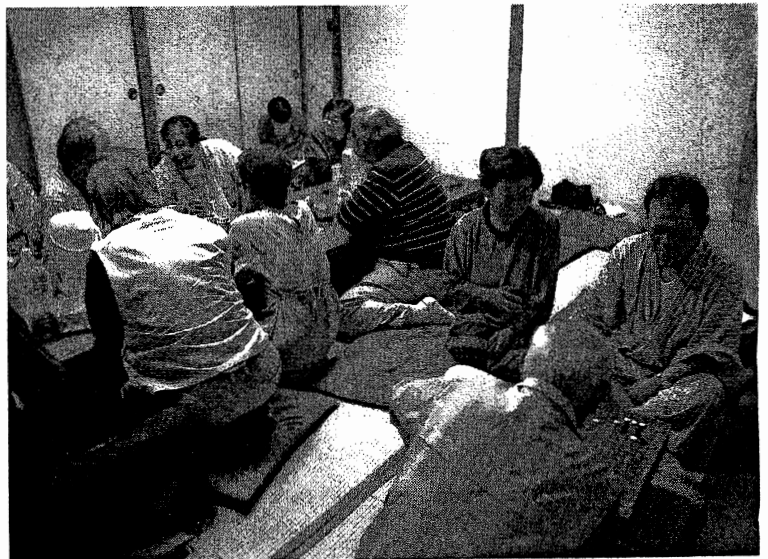
原発廃炉予定が2079年。莫大な国家予算と時間と労力を無駄にします。

日本も同じ状態になりつつあります。

あまり知られていませんが、若くして亡くなった高木仁三郎(原子核化学)

は、青森県六ヶ所村核燃料サイクル施設建設差止め訴訟最終弁論で、「日本の原子力の現状では、遠くない時期に重大な事故が起きると予言しました。不幸にして、その予言は的中しました。

5月5日で、原発稼働は0になりました。野田政権は躍起になり再稼働を画策しています。原発再稼働0の運動を、国民運動にしなければなりません。



野田政権のしていることは、①消費税10%への暴走②TPP参加③沖縄新基地の建設です。国民の願いをことごとく裏切ってきました。この政治の流れを変える国民的連帯の運動がますます重大です。国民の戦いこそが歴史を作り替えます。

歴史を作る国民的運動にエールを送ると共に、参加しようではありませんか。

総会后に、突然の怪我で予定していた総会出席が出来なかった黒崎さんから、便りが届きました。

「懲りずに骨折り損」

黒崎 和男 (6月5日病院にて)

サツキ盆栽を始めて40年を超えるが、30~40鉢に増やしたのは、平成5年

の退職からである。

今年も早咲きのツツジが、ぼちぼち咲き始めてきた。例年、ビニールハウスの中で折角見事に咲き誇った花たちを、日焼けさせたり、花腐れ病にやられたりするのので、今年は外の育成棚に遮光ネットを張って、花たちのステージを作ってやろうと、雪が解けて早々と棚の設置を終え、数日前から支柱の設置にかかっていた。

5月21日、この日は、日程の詰まった忙しい日だった。午後3時に所用を済ませて帰り、立て終わっていた支柱に、遮光ネットの取り付けに取りかかった。順調に進み、3時間あまりで無事完成した。我ながら満足のいく仕上がりがだった。夕食のコールもあり、家に上がって飲んだ一杯のワインの味は格別であった。

そこで、である。「暗くなる前に、出来具合をもう一度見ておこう。」と思って外に出た・・・のが運の尽きであった。

薄暗くなっていたが、そこには花たちのステージが満足のいく状態に出来上がっていた。そこでまた、「上から見下ろしたらどう見えるか？」等と「そこで癖」が始め、ステージ脇に削って付けた階段を上がると、「あっ！、たった一つの忘れ物が!」

それは工事用の足場などに用いる分厚い鉄パイプで、2.5m以上も長く、重さも25Kg以上もある代物で、近所の親しい友人から、何か使い道があるだろうと貰ったものであった。今回も支柱の穴開けに役立ち、最後にしまう予定だったが忘れたのである。またまた「そこで」である。よせばいいのに、その鉄パイプを片付けにかかったのである。サンダル履きで。

真ん中辺りを両手で腹の高さまで持ち上げたが、意外と重く、・・・何とか目的地まで進み、そこから斜面下の方にほうりなげようとしたが・・・。鉄パイプが我が手を引っ張って、私を1.5m程の斜面に逆さに引きずり込んだ。頭から斜面を転がり、脳天を地面にしたたか打った。首の辺りが「ゴッキン」となって、真っ暗になった。救急車を呼ぶのが恥ずかしくて、妻に近所の知り合いに頼んで貰って、市立病院救急に入った。「第2頸椎骨折」という症名を戴き、骨が付くまで、8週間の入院を余儀なくされた。

後で聞いたのだが、「この症名で当院に入るのは年に一人位で、寝たきりや半身不随などの後遺症を伴う事がある危険な怪我だ。」と聞かされ「ぞーッ」「それで入院3~4日間はHCU（ハイケアユニット）病棟に入れられたのか。」と合点した次第である。

ついでに告白させて頂くが、実は平成8年（16年前）にも、「脊椎第2骨圧迫骨折」で旧当院に入院しているのであるから、今回が2度目の骨折り損である。その時は、「妻にせがまれ、筆筒を持ち上げ」「骨粗鬆症の傾向もあった」など、大義名分的要素もあったのだが、今回ときたら「愚行」一語の誹りを免れまい。幸い現時点では神経系統に異常が無いとの事、『自業自得の骨折り損』という事で納得する事にした次第。

ただ、『二度ある事は三度・・・』だけは『やっではならぬ』と、肝に誓っているところである。私のこの怪我で、約束を反故にされた方々に、陳謝致します。

総会の日、黒崎さん頸椎骨折で入院の話聞き、神経系統は大丈夫なのか心配でしたが、便りが届き、パソコンが使える、宛名も直筆のようで、ホッと一安心。8週間の入院という事で、そろそろ退院されたのではないのでしょうか。暫く無理は禁物。

黒崎さんに限らず、元気な皆さんは、つい「若さ」が出るもの。私も、腰痛を発症した40代の時に、「意識と身体の年齢は違う。身体は20代には戻らない。」と医師に言われました。お互い「意識年齢」はともかく、身体年齢は「意識年齢-10歳」で注意していきましょう。

////// 9月3日宗廣さんから便りが届きました。 ////
宗廣 光明

ご無沙汰に陥ります。

千葉の川上さんから便りが届きました。
すでにご賢察なっているかも知れませんが、一応
送ってみました。

80を越えての反社会運動、その他の精力的な
活動に敬意を表したくて...

この運動 苦小救世もやられていけるでしょう。何とか
に、くい止めれば、と思いますね。

是非 道徳教活動 かまばって下さい。

追伸： ついでに 乞うご教示 何ですかー

小遣かただ今 やっているボランティアの一端を
紹介しますのでご笑覧下さい。 ボランティアと云っても
気の向いた時に行く程度で、記念館の方は
趣味の思ひかも知れません。

記念館には 知人友人、様々な人が来るので
会話だけでも楽しいかも。

泊原発再稼働反対 意見書採択求める

市民団体 市議会に陳情書

苦小牧市の市民団体「脱原発・自然エネルギーをすすめる苦小牧の会」(浦田操会長)

は20日、泊原発再稼働に反対する意見書採択を求めて、苦小牧市議会に陳情を行った。

陳情書では、福島第1原発の事故が地域に重大な影響を及ぼし続けており、泊原発でも

泊原発再稼働反対を求める陳情書を提出する浦田会長(中央)と斉藤事務局長(右)



同様の事故が起これば道内全域の農業や観光業に大打撃を与えると

指摘。再稼働を許さず原発撤退を決断すべきだとして、国や道などに対する意見書を採択するよう求めている。同日は浦田会長や斉藤秀夫事務局長ら3人が市庁舎を訪れ、議会事務局に陳情書を提出した。

浦田会長は取材に対し、「脱原発の願いは苦小牧市民の間にも広がっており、再稼働への反対を強く訴えた」と話していた。(大脇聡)

< ◇ 北海道新聞 >

苦小牧地域では、この間、映画「核の傷、肥田舜太郎医師と内部被曝」&肥田舜太郎医師講演会・さようなら原発1000万人アクション in 苦小牧、九条の会など、反原発や憲法を守る取り組み等が進められ、多くの会員が参加してきました。他の地域でも様々な活動があると思います。新聞記事や集会資料など送って下さい。

* 会員の皆さんにお詫び

「ひまわり」を早くと思いながら、腰痛が良くなり、立っても座っても、同じ姿勢を数分続けると腰痛がひどくなるという状況が続いています。木村支部長から何度も催促されながら、「ひまわり」と道退教の文書を一緒に発送と考えている内に、様々なものが遅くなり、東北・北海道交流会の案内も届ける事が出来ずになりました。交流会参加の予定を考えていた会員の方には、本当に申し訳ない事になりました。深くお詫びします。

*** 教育全国署名**

用紙を同封します。一人一枚です。同封の封筒で事務局まで返送下さい。その時、近況等何でも良いので一緒に同封して頂けると助かります。返信用封筒を同封しますので、目に付くところに留めておいて、返信をお願いします。

署名は、10月末迄お願いします。

*** 会費**

会費が未納になっている方には、郵便局の振込用紙を同封しましたので、送金下さい。